

地域政党 京都党市会議員団ニュース

vol.11
発行日: 令和3年3月20日
発行人: 江村りさ

地域政党京都党 市会議員団 〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL 075-222-4035 FAX 075-213-3301

www.kyoto-to.com/

地域政党京都党 市会議員団メンバー

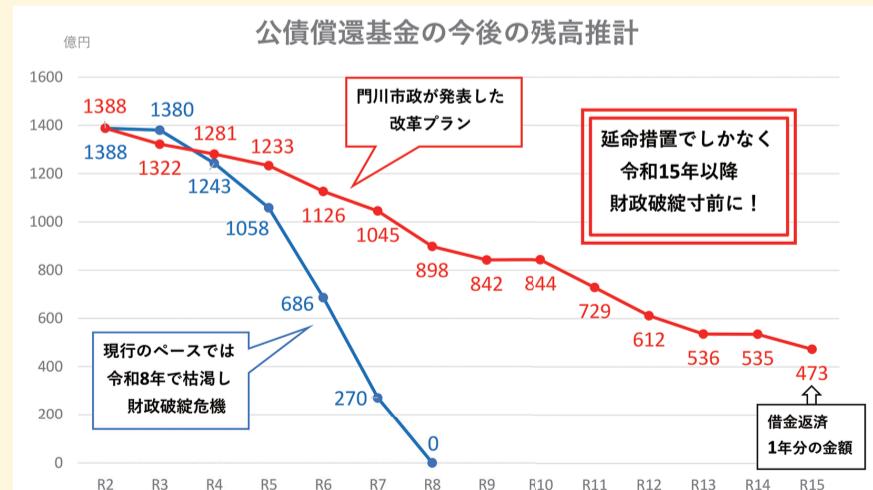


財政逼迫でも危機意識の低い京都市。 発想の転換を力強く提言！

京都党はかねてから「収入の範囲で予算を組まないといすれ財政破綻をする」と門川市政に警鐘を鳴らし続けてきました。しかし、門川市長はこれまで予算の不足分を基金で賄う異例の財政運営を続け、令和2年9月に突然「来年度の財源不足は500億円であり、このままで令和8年度に基金が枯渇し、令和10年には財政破綻する」と公表しました。財政圧迫はコロナ禍による要因ももちろんありますが、根本的には長年収入を超える支出を続けてきたことが原因です。そして京都市ではついに「全庁をあげて全ての歳入歳出を聖域なく見直す」行財政改革を行うことが決まり、今回の令和3年2月議会において、改革の概要が発表されました。

市民しんぶんでは京都市の厳しい財政事情が取り上げられ、財政規律に取り組めば基金の減少もすぐに食い止められるグラフが表示されています。しかし議会に提示されているものは全く異なり、財政規律を行っても令和15年度以降には財政破綻が目前と迫る内容です。つまり、今の京都市の計画は延命措置に過ぎず、財政破綻を回避できるものにはなっていません。それでもなお職員給与カットは割合にして1%以下に過ぎず、減給後も全国屈指の給与の高さです。市長は30%カット、議員も10%カットの報酬削減及び議会改革で総額1億円の捻出に取り組む中、京都市総体にこの危機意識を浸透させることが喫緊の課題です。

もちろん、京都党も財政規律だけでなく、コロナ禍で市民も事業者も心身・経済ともに疲弊している現況を受け止め、財政を見つめも救済を優先し取り組んできた予算はたくさんあります。財政破綻してしまうと、水道料金、市民税やバス・地下鉄料金など何もかもが値上がりし、最低水準のサービスに最高水準の負担という恐ろしい未来が待ち受けています。だからこそ、京都党として何とか財政破綻を回避し近未来の莫大な市民負担を少しでも減らすべく、給与など固定費の見直しはもちろんのこと、越境ECや京都駅周辺のオフィス空間の創造による大規模な収入増加策などできる限りの財政立て直し策を多数提言し奮闘しております。



公債償還基金とは？

市債(借金)の償還(返済)に備えるために設置される基金です。個人の住宅ローンは借りたお金の一定額を毎月返済しますが、市の借金は最終返済日に金額を返す満期一括償還が多いため毎年公債償還基金として貯めて返済に備える形がとられています。